



諏訪ユネスコ協会

諏訪ユネスコ通信

第 2 号

発行

諏訪市湖南 4418

TEL0266-57-2181

会長 原 清



TANI

中部高地を代表する縄文時代の史跡・井戸遺跡 いとひ

挿絵：谷沢信喜

日達れんげ切り絵の世界

日達れんげ切り絵展開催

日時：平成23年11月24日（木）～28日（月）

場所：エコラボ・クラブ2階（株式会社日本ルーフ内）

作品販売収益金の一部を「東日本子ども支援募金」に寄付します

世界寺子屋運動 書き損じハガキの回収を始める



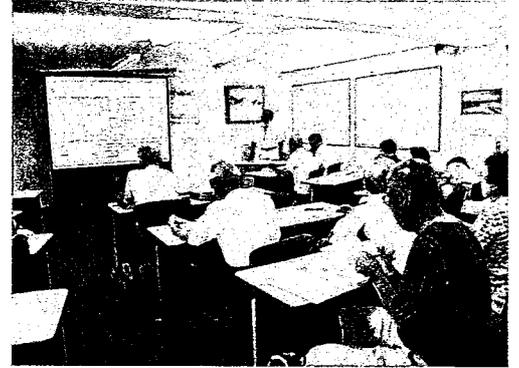
寺子屋運動部会は6月21日に第1回部会を開催し活動の取り組みについて協議した。

1. 書き損じ葉書の回収箱を11月までに製作し公民館、学校等に設置する。
2. 回収葉書は年賀葉書を対象とし、2月に回収する。

上記事項について決定した。

第2回部会を7月14日、部会員・理事等対象に「寺子屋運動勉強会」が開催された。日本ユネスコ協会連盟のホームページ「世界寺子屋運動」を中心に学習し、認識を深めた。

8月10日第3回部会開催。6市町村に会員が別れ、地区ごとの活動について協議した。その結果、それぞれの教育委員会と連携して運動に取り組むこととした。また、回収箱設置の協力企業として「いずみ書房(株)」が運動に協賛し「いずみ塾」35校に設置、募金用の切手についても買い上げることを矢崎勇人社長と原会長の協議で決定した。



2011年度中部東ブロックユネスコ活動研究会

静岡県浜松ユネスコ協会主催で開かれる



8月21日「ホテル コンコルド浜松」に於いて開催され、諏訪ユネスコ協会から11名が参加した。

研究テーマは「ユネスコ精神を青少年につなぐ 一科学する心から平和の文化へ」未曾有の自然災害と原子力事故によって日本は大きな岐路に立たされている。人類の文明を推進してきた科学、その科学に今こそ倫理性と道徳性を

兼ね備える事が持続可能な社会への展開や世界の人々との共存と平和への不可欠条件である。

次の世代を生きる青少年にユネスコの使命である平和の心をつなげる為に、ユネスコ活動の更なる発展と活性化に向けて研究と討議が行われた。

基調講演に人間国宝・有馬朗人先生が「子どもたちの科学する心と世界平和」について講演し、感銘を受けた。会員には矢崎理事の講演速記録を配布した。

八ヶ岳西麓の縄文文化を訪ねて

7月20日(水)地域遺産部会による「八ヶ岳西麓縄文文化遺跡見学会」が行われた。

尖石縄文考古館に9時集合。30名の参加者により地域の歴史遺跡を研修した。

最初の見学場所である尖石縄文考古館では、鶉飼館長より「宮坂英弉先生が独力で尖石遺跡を発掘し、考古学の普及に尽力された」「尖石遺跡は学術上の価値が最も高い」

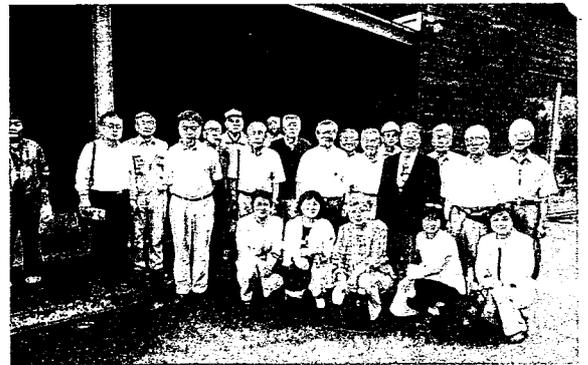
等々話された。

国宝「土偶」《縄文のビーナス》、重要文化財「土偶」《仮面の女神》、縄文時代中期の文化をうかがい知ることのできる貴重な土器、石器を見学した。

その後、仮面の女神が出土した「中ッ原遺跡」を訪ね、原村にある「阿久遺跡」、信濃境にある「井戸尻考古館」へと足を運んだ。

井戸尻遺跡の史跡公園内にある「古代ハス」も見頃であり心和まされた。

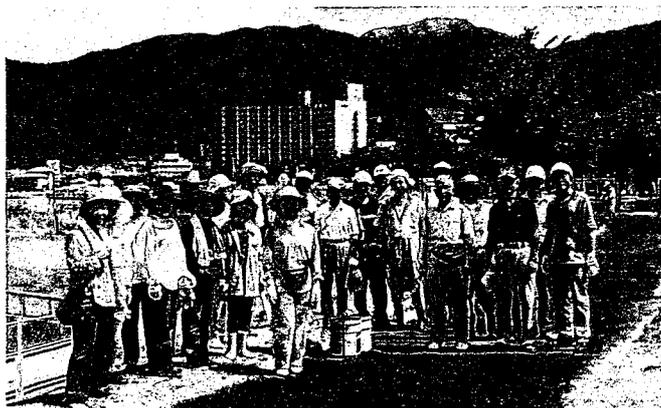
台風6号の影響を受け、早朝までは激しい風雨であったが研修時には雨もあがり、心地よい学習日和であった。



諏訪湖浄化推進運動

アダプトプログラム活動に参加

諏訪ユネスコ協会地域実践部会は平成23年度事業計画に基づき、諏訪湖浄化の推進の一環として諏訪湖アダプトプログラム実行委員会（長野県諏訪建設事務所内）に活動団体として認可され、特定外来植物の除去及びごみ、ビン、缶等の清掃を実施する。

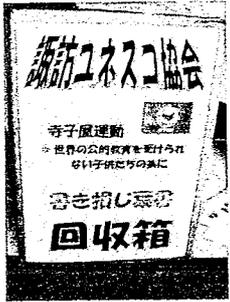


8月4日午前9時30分から会員30名が参加して受け持ち区間である諏訪市石彫公園周辺の清掃活動を行った。

特定外来植物（アレチウリ・アメリカセンダン草）釣り糸、タバコの吸い殻、空き缶、プラスチックごみ等を回収し、可燃ごみ、不燃物に分別した。

第2回は10月6日(木)、第3回は12月1日(木)に実施する。

世界寺子屋運動 書き損じハガキの回収を始める



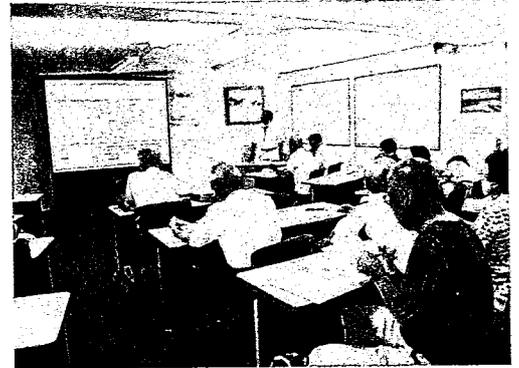
寺子屋運動部会は6月21日に第1回部会を開催し活動の取り組みについて協議した。

1. 書き損じ葉書の回収箱を11月までに製作し公民館、学校等に設置する。
2. 回収葉書は年賀葉書を対象とし、2月に回収する。

上記事項について決定した。

第2回部会を7月14日、部会員・理事等対象に「寺子屋運動勉強会」が開催された。日本ユネスコ協会連盟のホームページ「世界寺子屋運動」を中心に学習し、認識を深めた。

8月10日第3回部会開催。6市町村に会員が別れ、地区ごとの活動について協議した。その結果、それぞれの教育委員会と連携して運動に取り組むこととした。また、回収箱設置の協力企業として「いずみ書房(株)」が運動に協賛し「いずみ塾」35校に設置、募金用の切手についても買い上げることを矢崎勇人社長と原会長の協議で決定した。



2011 年度中部東ブロックユネスコ活動研究会

静岡県浜松ユネスコ協会主催で開かれる



8月21日「ホテル コンコルド浜松」に於いて開催され、諏訪ユネスコ協会から11名が参加した。

研究テーマは「ユネスコ精神を青少年につなぐ 一科学する心から平和の文化へ」未曾有の自然災害と原子力事故によって日本は大きな岐路に立たされている。人類の文明を推進してきた科学、その科学に今こそ倫理性と道徳性を兼ね備える事が持続可能な社会への展開や世界の人々との共存と平和への不可欠条件である。

次の世代を生きる青少年にユネスコの使命である平和の心をつなげる為に、ユネスコ活動の更なる発展と活性化に向けて研究と討議が行われた。

基調講演に人間国宝・有馬朗人先生が「子どもたちの科学する心と世界平和」について講演し、感銘を受けた。会員には矢崎理事の講演速記録を配布した。

「谷沢のぶよしイラスト展」開催

絵葉書の売上金を東日本大震災子ども支援募金に寄付



「エコラボ・クラブ」内にある諏訪ユネスコ協会展示場で、8月24日～30日までイラストレーターの谷澤信憲(ユネスコ会員)による「谷沢のぶよし・イラスト展」が開催された。

諏訪の風景の中に子供たちを配した、ほのぼのとした郷愁を誘う童画25点、黒の線描だけで表現した

細密なペン画20点の計45点が展示され、多くの鑑賞者でにぎわった。

中には、「中日新聞」に掲載された記事を持って、高森町から来場した夫妻もおり、一同を感激させた。

会場では「谷沢のぶよしの世界・諏訪の風景と子供たち」の絵葉書セット(12枚入り)を販売。その売り上げ金の全額7万円を、ユネスコ本部を通じて「東日本大震災子ども支援募金」に寄付した。

谷沢会員は「これからも諏訪の風景を中心に描いていきたい」と話していた。

なお、11月24日(木)～28日(月)「日達れんげ切り絵展」を開催する。



谷沢会員より売上金の寄付を受ける

事務局だより

※役員会(理事・会計・監事)

6月8日(水)午後7時 事務局に於いて。

1. 5月14日(土)日本ユネスコ協会連盟の「加盟証書」授与式に牛山、小口両副会長、高林事務局長が出席。
2. 「諏訪ユネスコ協会ホームページ」を作成。
ホームページアドレス (<http://www.unesuco.jp/suwa/>)
3. 諏訪ユネスコ協会賛助会員規約を承認、賛助会員を募集する。
4. 新入会員10名を承認。
5. 中部東ブロック・ユネスコ活動研究会に参加(11名出席)
6. 各部部长より事業計画について報告。

※理事会

9月16日(金)午後6時30分 事務局に於いて。

1. 「谷沢のぶよしイラスト展」の開催報告。来場者168名
「日達れんげ切り絵展」を11月24日～28日広報部・事務局の主催で開催。
2. 「縄文文化講演会」を11月9日(水)地域遺産部会的主催で開催。
3. 第2回諏訪湖アダプトプログラムを10月6日地域実践部会主催で実施。
4. 寺子屋運動部会より「書損じハガキ回収」活動の状況報告。
5. 諏訪ユネスコ協会による「子ども理科(科学)教室」の実施見通しについて矢崎理事より報告。
6. 新入会員5名、賛助会員7名の入会を承認。